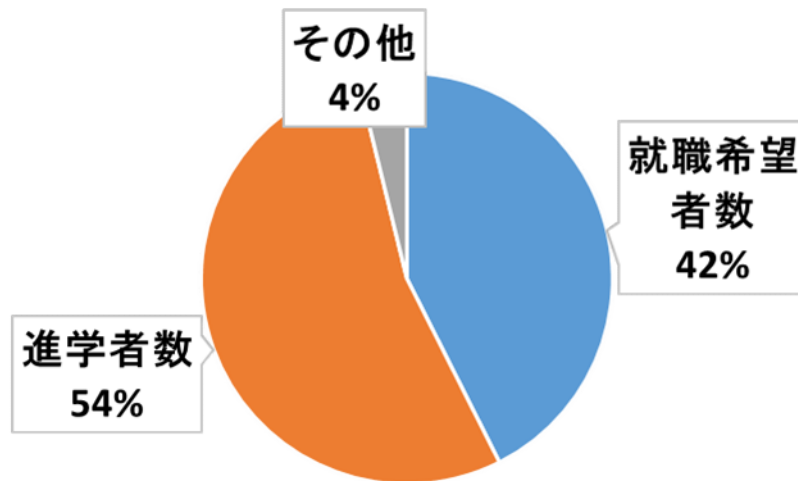


工学部「保護者のつどい」

- 就職・進学状況および取り組み
- JABEE認定について
- 進級要件および成績向上の取り組み

工学部の就職・進学状況

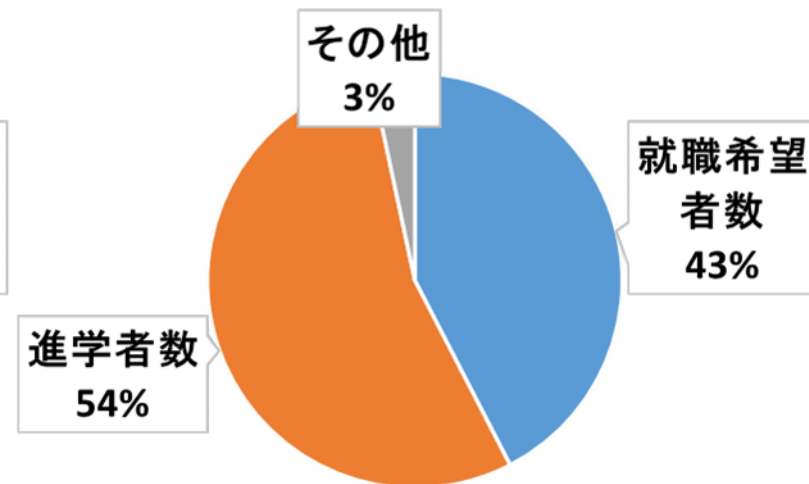
平成29年度(2017年度)卒業生



■ 就職希望者数 ■ 進学者数 ■ その他

就職希望者のうち、
就職を希望して
就職した者 98%

平成30年度(2018年度)卒業生

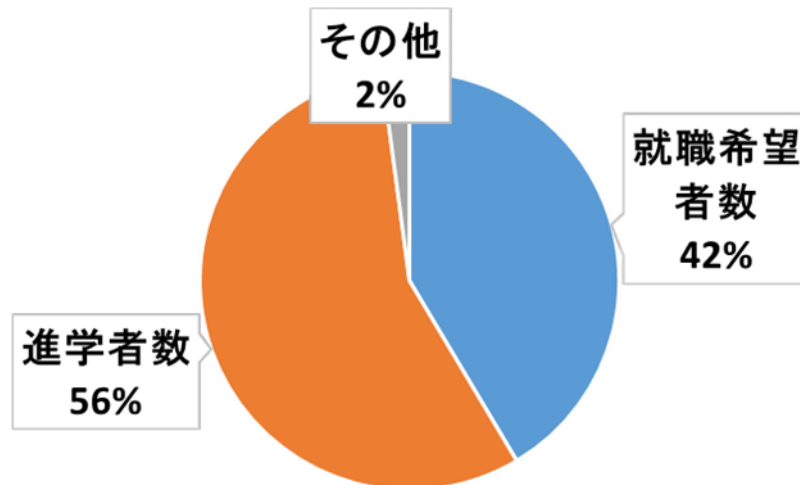


■ 就職希望者数 ■ 進学者数 ■ その他

就職希望者のうち、
就職を希望して
就職した者 99%

工学部の就職・進学状況

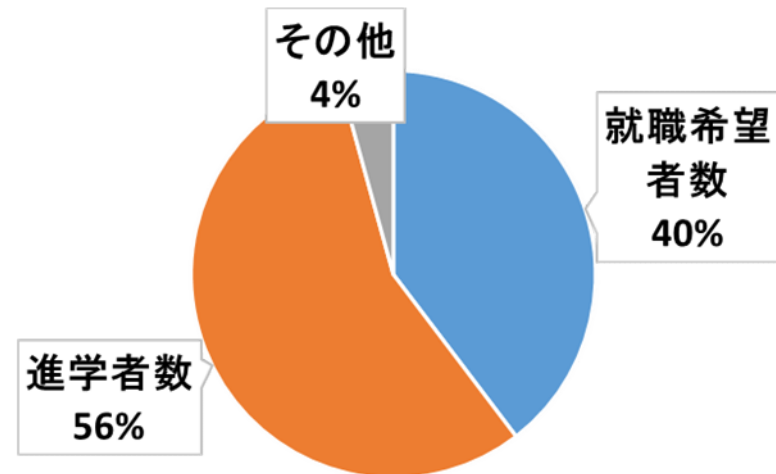
令和元年度(2019年度)卒業生



■ 就職希望者数 ■ 進学者数 ■ その他

就職希望者のうち、
就職を希望して
就職した者 99%

令和2年度(2020年度)卒業生



■ 就職希望者数 ■ 進学者数 ■ その他

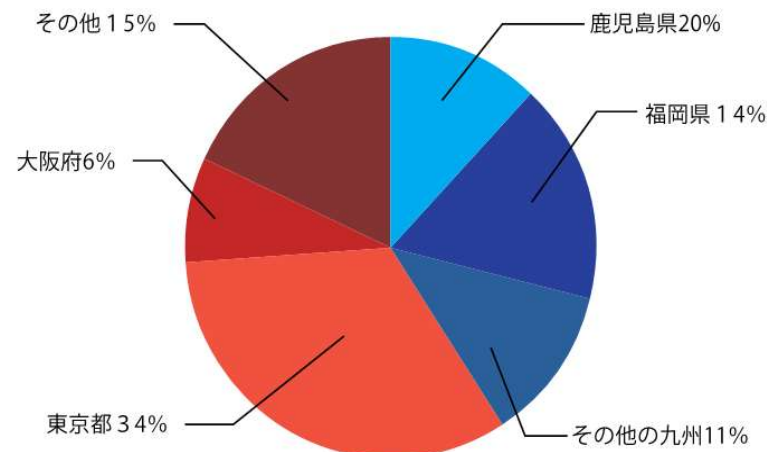
就職希望者のうち、
就職を希望して
就職した者 97%

「どんな地域に就職しているの？」

約4～5割が鹿児島・九州地域に就職し、残りのほとんどが関東・近畿地方に就職している。

どんな地域に就職しているの？

約4割が鹿児島を含む九州地域に就職し、他の多くが関東・近畿地方に就職している。



都道府県別就職先

Employments in prefectures

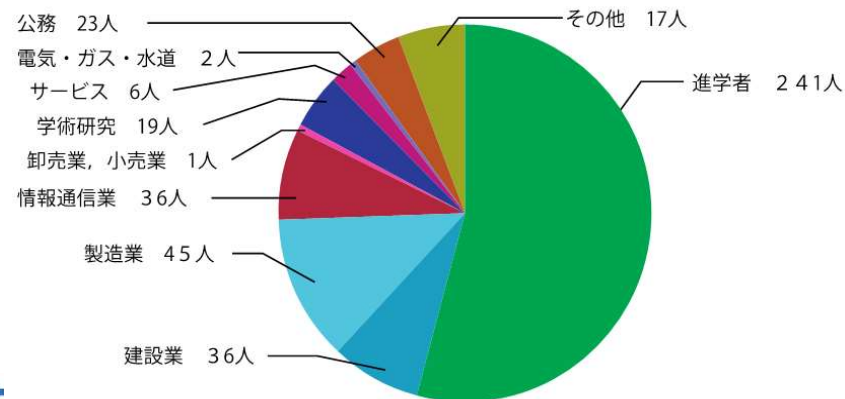
令和2年5月1日現在

学 科	東京都	神奈川県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	広島県	愛媛県	山口県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	計
機 械 工 学 科	5(1)	2		1(1)	2(1)		1	1	5	1	1			3		1				6(2)	29(5)
電 気 電 子 工 学 科	9	3				1								4	1		5(2)		1	4(1)	28(3)
建 築 学 科	12(2)								3(1)					1	1					7(1)	24(4)
環境化学プロセス工学科	4(2)	1(1)		2					2(1)				1(1)	4(3)			1		1	2	18(8)
海洋土木工学科	9		1(1)							1		1		1		1	1			8	23(1)
情報生体システム工学科	16(8)				2(1)						1			11(2)				1		4	35(11)
化学生命工学科	4(3)				1(1)			1(1)		1(1)	1(1)			1	1(1)		3(1)	1		5(3)	19(12)
計	59(16)	6(1)	1(1)	3(1)	5(3)	1	1	2(1)	10(2)	3(1)	3(1)	1	1(1)	25(5)	3(1)	2	10(3)	2	2	36(7)	176(44)

() 内は女子の内数を示す。

「卒業したらどんな進路に進むの?」

工学部卒業生は、広範囲な産業界で活躍している。また、大学を卒業してさらに学問・研究を重ね、高度専門技術や研究者を志す大学院進学者も増えてきている。



卒業生の進学・産業別就職等

Higher grade education and employments in industrial categories for graduates

令和2年5月1日現在

区 分 学 科	卒 業 者	進 学 者	そ の 他	産 業 別 就 職 者 数																														
				農 業 ・ 林 業	漁 業	鉱業・採石業・砂利採取業	建 設 業	製 造 業									電 気 ・ ガ ス ・ 水 道 業	情 報 通 信 業	運 輸 業 ・ 郵 便 業	卸 売 業 ・ 小 売 業	金 融 業 ・ 保 険 業	不 動 産 業 ・ 物 品 賃 貸 業	学 術 研 究 ・ 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	宿 泊 業 ・ 飲 食 サ ー ビ ス 業	生 活 関 連 サ ー ビ ス 業 ・ 娯 楽 業	教 育 ・ 学 習 支 援 業	医 療 ・ 福 祉	複 合 サ ー ビ ス 事 業	その他のサービス業	公 家 公 務 員	務 地 方 公 務 員	左 記 以 外	計	
								食 料 品 ・ 飲 料 等	織 維 工 業	印刷・同 関 連 業	化学工業 石油等	鉄 鋼 非 鉄 金 属 等	はん用・生産用・業務用 機 械 器 具	電子部品・デバイス・ 電 子 回 路	電 気 情 報 通 信 等	輸 送 用 機 械 器 具																		そ の 他
機 械 工 学 科	86 (6)	57 (1)					2 (1)					5	4 (1)		4 (1)			2	1				8							2 (2)	1		29 (5)	
電 気 電 子 工 学 科	72 (3)	43	1				2		1			1	6 (2)	4 (1)	1			10				2											28 (3)	
建 築 学 科	61 (12)	35 (7)	2 (1)				16 (2)											1				2 (1)	1 (1)			1					1	2		24 (4)
環境化学プロセス工学科	40 (11)	19 (2)	3 (1)			2 (2)	2 (1)		1		4 (3)		2 (1)	2		1				1			2 (1)								1		18 (8)	
海 洋 土 木 工 学 科	40 (2)	17 (1)					12 (1)															1	2								8		23 (1)	
情報生体システム工学科	79 (14)	42 (3)	2				1								1 (1)			1 (1)	22 (5)		1 (1)		1							3 (1)	3 (2)	2		35 (11)
化 学 生 命 工 学 科	48 (18)	28 (6)	1				1 (1)	1			4 (3)				1 (1)	1 (1)			2 (1)				3 (3)							1		5 (2)		19 (12)
計	426 (66)	241 (20)	9 (2)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	36 (6)	1 (0)	2 (0)	0 (0)	8 (6)	1 (0)	8 (1)	12 (3)	6 (3)	7 (2)	0 (0)	2 (1)	36 (6)	2 (0)	1 (1)	1 (0)	2 (1)	19 (5)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	6 (3)	4 (2)	19 (2)	0 (0)	176 (44)

() 内は女子の内数を示す。

工学部の就職に対する取り組み

就職担当教員＋指導教員による
就職先の斡旋および就職対策
＋

鹿児島大学キャリア支援センター

- ・「キャリアデザイン」 1・2年次
- ・進路ガイダンス 1・2年次
- ・学内業界研究・職種研究セミナー 1～4年次
- ・就職ガイダンス 3年次
- ・各種就職支援講座 3・4年次
(業界研究、模擬面接、集団討論対策など)
- ・学内合同企業説明会・セミナー 3年次
- ・公務員・教員採用試験説明会 4年次 など

就職に向けて必要なこと

- ◆ 将来計画を早めに立てる。遅くとも3年進学時まで。
- ◆ より高いTOEIC※の点数を獲得する。
(大手企業では600点がボーダー)
- ◆ 目標の業種に関する必要な専門知識や技術を身につける。
- ◆ 目標の業種に関係する資格があれば取得を目指す。

※ **TOEIC** (Test Of English for International Communication)
国際コミュニケーション英語能力テスト

取得できる免許と資格(1)

Obtainable licenses and qualifications

令和2年度

免許・資格	学科	先進工学科						建築学科	備考
	機械工学 PG	電気電子工学 PG	海洋土木工学 PG	化学工学 PG	化学生命工学 PG	情報・生体工学 PG	建築学 PG		
免許の種類									
高等学校教諭一種免許状（工業）		○	○	○	○	○	○		教員の免許状授与の所要資格を取得しようとする学生は、教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則に定める所定の単位を修得しなければならない。
取得できる主な資格									
技術士補・技術士	試験免除又は一部試験科目の免除受験資格の取得	○	○	○	○	○	○	○	○のプログラムの卒業生は修習技術者となり、技術士会に登録すれば技術士補となる。その後、4年を超える期間、技術士を補助することで、技術士の受験資格を得る。○のプログラムの卒業生は修習技術者になるための試験において、共通科目の試験が免除される。
第一種、第二種衛生管理者	実務従事期間の短縮	○	○	○	○	○	○	○	卒業後、1年以上労働衛生の実務に従事した後に受験資格を得る。
衛生工学衛生管理者	受講資格の取得	○	○	○	○	○	○	○	卒業生は資格認定講習の受講資格を得る。
第一種、第二種作業環境測定士	実務従事期間の短縮	○	○	○	○	○	○	○	卒業後、1年以上労働衛生の実務に従事した後に受験資格を得る。
安全管理者	実務経験期間の短縮	○	○	○	○	○	○	○	卒業後、所定の研修を修了し、2年以上産業安全の実務を経験することによって取得できる。
廃棄物処理施設技術管理者	実務従事期間の短縮	○	○	○	○	○	○	○	卒業生は廃棄物処理に関する技術上の実務に従事した後、資格認定講習の受講資格を得る。実務への従事は○のプログラムは2年、○のプログラムは3年である。
建設機械施工技士	受験資格の取得	○	○	○	○	○	○	○	一般の受験に必要な実務経験年数は、指定プログラム（○）は卒業後3年以上、指定プログラム以外のプログラム（○）は卒業後4年6月以上であるが、いずれも指導監督の実務経験年数1年以上含むこと。 二級の受験に必要な実務経験年数は、指定プログラム（○）卒業後1年以上、指定プログラム以外のプログラム（○）は卒業後1年6月以上。
土木施工管理技士	受験資格の取得	○	○	○	○	○	○	○	
建築施工管理技士	受験資格の取得	○	○	○	○	○	○	○	
電気工事施工管理技士	受験資格の取得	○	○	○	○	○	○	○	
管工事施工管理技士	受験資格の取得	○	○	○	○	○	○	○	
造園施工管理技士	受験資格の取得	○	○	○	○	○	○	○	

取得できる免許と資格(2)

Obtainable licenses and qualifications

令和2年度

免許・資格	学科	先進工学科						建築学科	備考
		機械工学 PG	電気電子工学 PG	海洋土木工学 PG	化学工学 PG	化学生命工学 PG	情報・生体工学 PG	建築学 PG	
免許の種類									
第二種電気工事士	筆記試験免除		○						所定の単位を修めた卒業生は、筆記試験が免除され、技能試験のみとなる。
電気主任技術者	試験免除		○						所定の単位を修めた卒業生は、実務経験5年を経て、第一種電気主任技術者の免状交付の申請ができる。
電気通信主任技術者	一部試験科目免除		○						所定の単位を修めた者は、「電気通信システム」の試験が免除される。
第一級陸上無線技術士	一部試験科目免除		○						所定の単位を修めた卒業生は、卒業の日から3年以内に限り、第一級陸上無線技術士の「無線工学の基礎」が免除される。
第一級陸上特殊無線技士	試験免除		○						所定の単位を修めた卒業生は、申請により取得できる。
第二級海上特殊無線技士	試験免除		○						
建築士								○	卒業生は二級建築士受験資格を得る。一級建築士免許取得のためには、一級建築士試験合格と2年間の実務経験が必要である。
危険物取扱者(甲種)	受験資格の取得				○	○			卒業生は受験資格を得る。
毒物劇物取扱責任者	試験免除				○	○			卒業生はこの資格を得る。
化学工学修習士	試験免除				○				卒業生で化学工学会会員となり登録申請することで資格を得る。
化学工学技士(基礎)					○				卒業生・在学生問わず受験できる。
測量士補・測量士	試験免除			○					卒業生は国土地理院へ登録することにより測量士補となる。1年以上の測量に関する実務経験後、国土地理院へ登録することにより測量士となることできる。
基本情報技術者試験							○		卒業生・在学生問わず受験できる。
応用情報技術者試験							○		卒業生・在学生問わず受験できる。

※プログラムにより条件が異なる場合には、◎と○で表します。詳細は、試験を実施する団体のHPや受験案内等を参照して下さい。

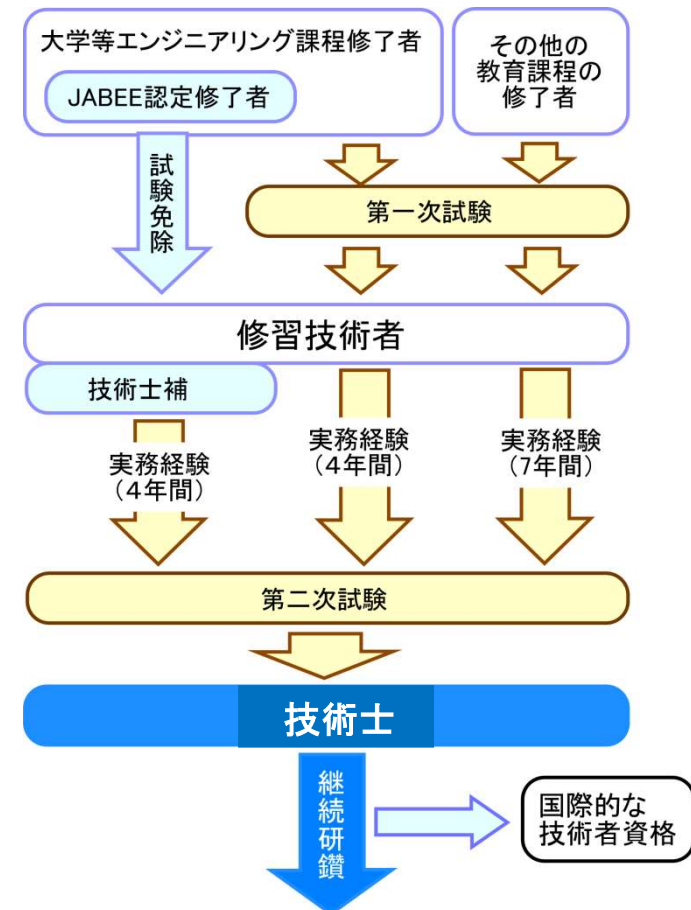
JABEE認定

日本技術者教育認定制度

(JABEE: Japan Accreditation Board for Engineering Education)

JABEE認定修了者のメリット

- 技術士補に相当する修習技術者の資格付与
- 技術士など、各種資格試験を受験するまでの期間短縮
- 海外の大学での取得単位の互換が可能
- 海外の資格試験の受験が可能



JABEE認定

先進工学科

機械工学プログラム

平成16年度からJABEEに認定

(H16年度機械工学科→R2年度機械工学プログラム)

電気電子工学プログラム

平成17年度からJABEEに認定

(H17年度電気電子工学科→R2年電気電子工学プログラム)

海洋土木工学プログラム

平成16年度からJABEEに認定

(H16年度海洋土木工学科→R2年度海洋土木工学プログラム)

化学生命工学プログラム

平成18年度からJABEEに認定

(H18年度応用化学工学科応用化学コース→H21年度化学生命工学科→R2年度化学生命工学プログラム)



建築学科

建築学プログラム

平成18年度からJABEEに認定

(H16年度建築学科→R2年度建築学プログラム)

高校と大学の違い

- 授業を比較的自由に選択できる
- 授業数は10コマ／週(2コマ／日)
- 1コマ(90分)の授業に対し、一般的に予習2時間、復習2時間の自主的な取り組みが求められる
- 単位制で、成績はGPAで評価される

グレード ポイント アベレージ

GPA (Grade Point Average)

GP
(Grade Point)

90～100	A	4
80～89	B	3
70～79	C	2
60～69	D	1

$$\text{GPA} = \frac{\sum (\text{GP} \times \text{取得単位数})}{\text{総履修単位数}}$$

各学期ごとのGPA

学部長賞 3.50以上 成績優秀賞 3.25以上

卒業時の累積GPA

学部長賞 3.25以上 成績優秀賞 3.00以上

進級要件 : 進級時の累積GPA 1.5以上

進級要件

2年生から3年生 : 1年生の必修科目

3年生から4年生 : 2年生の必修科目

上記に加え、各学科ごとに進級要件が異なるため、
詳しい内容は、履修要項・学修案内を参照のこと

進級時の累積GPA 1.5以上

留年の主要な原因

授業に出席しない

（アルバイト、クラブ・サークルに熱中する）

英語、数学、物理が理解できない

コミュニケーションがとれない

（引きこもる）

工学部の取り組み

- 数学・物理の学習サポート(対象:1・2年生)
物理、数学の苦手な学生に対し、大学院生や学部の先輩が学習サポーターとなり、個別の質問に応じる
- 各学期ごとに、成績表を保護者に送付
- 各学期ごとに指導教員との面接を実施
- 成績不調学生者への面談および指導
- アドバイザー(指導教員)による担当学生への指導・助言の実施(「アドバイザー制」)
- アドバイザーの指導の下、学生相談員(大学院生)が担当学生の修学・履修・学生生活に関する相談を受ける「学生相談員制」を実施

相談の窓口

学生何でも相談室

電話：099－285－7311

同上(工学部)学生・就職委員(塩屋先生)

電話：099－285－8299

共通教育工学部担当

電話：099－285－8830

専門教育工学部担当

電話：099－285－3269